



MDP

2023 明治安田生命 J1 LEAGUE

2023明治安田生命J1リーグ第15節
@ 駅前不動産スタジアム

MATCHDAY PROGRAM
サガン鳥栖オフィシャルマッチデープログラム

2023 Season | VOL 11

05.27 [SAT]
17:00 KICK OFF
VS 鹿島アントラーズ



©1992 KASHIMA ANTLERS FOOTBALL CLUB CO.,LTD.



DF Masaya TASHIRO

30

信実を尽くすセンターバックは
これからも熱く燃える。

田代雅也は一つの節目を迎えた。5月1日に誕生日を迎え、「ついに大台に乗っちゃったなと思いました」と話した。30歳になり、周囲からは「お前もベテランになったな」と茶化されたが、自分では「ベテランになったという感覚がわからなくて」と笑った。それは田代のプレーを見ていれば分かるだろう。経験を重ねた冷静沈着さというよりも良い意味でのギラギラ感が田代にはある。ピンチの場面には体を張ってゴールを守り、チームが苦しいときには大きな声で仲間たちを鼓舞する。鬼気迫る表情で相手の前に立ちはだかる。年齢を重ねても変わらないギラギラした姿は常にチームメート、そして、サポーターの心に熱くなれる“何か”を放ち続ける。プレーで魅せる選手は数多くいるが、立ち居振る舞いで熱くさせる選手は決して多くない。「一日、一日をしぶとく頑張りたいし、良い意味で『年齢を感じないね』と言われ続けられるように頑張りたい」。毎日をガムシヤラに生きるからこそ、田代の中で燃え盛る炎は衰えることを知らない。

そして、田代の中にはもう一つの“燃料”がある。それは成長への欲求だ。昨季終盤、チームが新しいことに取り組み始めた時期に田代は出場機会を失った。「もちろん、悔しい気持ちはありました」。ただ、田代はその感情をネガティブな方向に進ませない。「試合に出ている選手へのリスペクトもあるし、出ている選手たちが見せているプレーを僕ができるようになれば、もっともっと成長できる」。ただ、悔しさを抱えるのではなく、それを晴らすために何をすべきか。悔しさという霧を晴らすことができれば、そこに待っているのは成長した自分だ。「みんなが本当にサボることなく練習するし、そういう仲間たちに感謝したい」。悔しさを晴らすために何をすべきか。その環境が鳥栖にはある。だからこそ、田代は成長を実感し続けることができるのだろう。「30歳になったけど、ホッとしている感覚はまったくない」。田代はこれからも熱く、燃える。

matchday program presents

佐賀トヨタスペシャルマッチ

「おかげさまで1周年! ~幸せを創出する企業を目指して~」